

# 令和4年度 病害虫防除情報

令和4年10月14日  
発表：福島県病害虫防除所

**ナシ黒星病の重要防除時期です。  
秋期防除と落葉処理を行い、越冬菌密度を減らしましょう！**

- 1 対象作物：ナシ
- 2 病害虫：ナシ黒星病

## 発生状況

10月の新梢葉での発生ほ場割合は、中通りでは9月から増加し、平年並～やや高い状況でした（図1）。また、県南地方では、翌年の伝染源となる秋型病斑の発生がみられました（図2）。

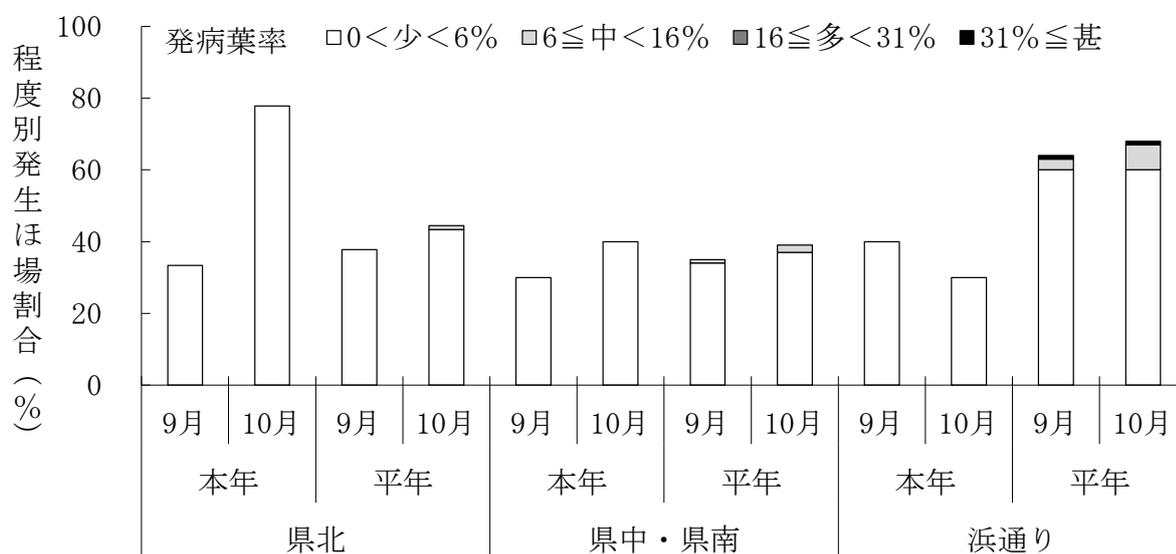


図1 新梢葉におけるナシ黒星病の発生状況（9月～10月、品種「幸水」）

## 防除対策

### （1）秋期防除

秋期防除は、翌年の伝染源となるりん片への感染を予防するために重要であり、りん片生組織の露出（図3）が多くなる10月中旬～11月上旬頃が、重要な防除時期です。落葉率80%頃を最終散布とし、2週間間隔で3回程度、薬剤散布を実施しましょう（図4）。

なお、薬剤散布は、降雨前の実施を心がけ、薬液が棚上の枝先まで十分量かかるよう丁寧に散布してください。

また、薬剤散布は、地方の防除暦等を参照し、収穫前日数等の農薬使用基準を遵守してください。

### （2）落葉処理

園内外の秋型病斑が認められる罹病葉を含む落葉は、翌年の伝染源となるため、丁寧に集めて土中に埋めるなど適切に処分しましょう（図5）。

また、乗用草刈機による落葉の粉碎処理や、ロータリーを使った中耕すき込み処理による効果が確認されています。これらの落葉処理をする場合は、原形をとどめた落葉を残さないように、丁寧に実施してください（図6）。

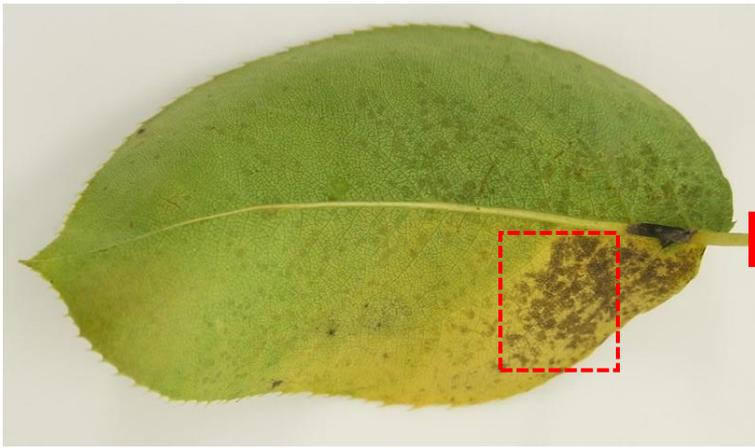


図2 ナシ黒星病秋型病斑（令和4年10月6日撮影）



（拡大図）



図3 露出したりん片生組織  
（提供：農業総合センター果樹研究所）

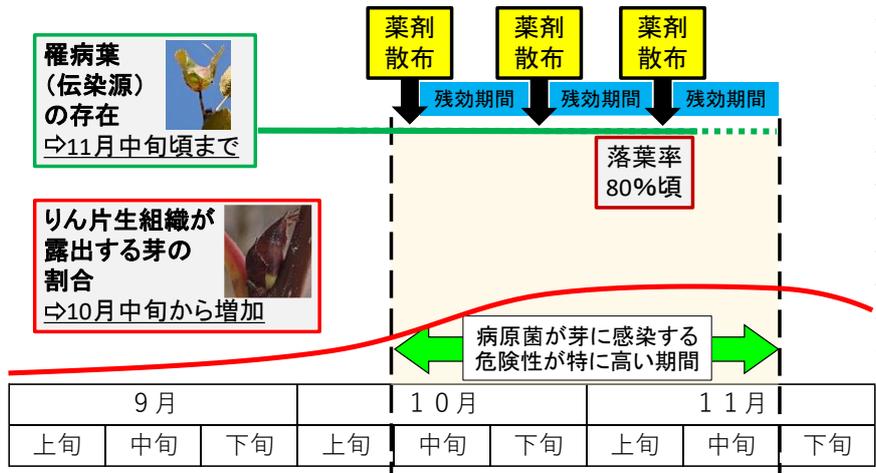


図4 秋期防除の実施時期のイメージ  
（図提供：農業総合センター果樹研究所）



処理前



処理後

図5 粉砕処理の状況（提供：農業総合センター果樹研究所）



処理前

処理後

図6 粉砕処理の目安  
（500円玉程度の大きさまで粉砕）  
（提供：農業総合センター果樹研究所）

●情報内容への質問は福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）までご連絡ください。本情報は、福島県病害虫防除所ホームページ  
[\(https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/\)](https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/) でもご覧になれます。  
 TEL：024-958-1709 FAX：024-958-1727